

News release

シグマ調査2015年損失額概算：世界の自然災害に起因する経済的損失は850億米ドル

- 災害による2015年の経済的損失総額は850億米ドルに達する
- 災害による2015年の保険損失総額は推定320億米ドル
- 災害事象による2015年の犠牲者数は約26,000人

チューリッヒ、2015年12月18日 –シグマ調査の概算によると、2015年の自然災害と人災による経済的損失総額は約850億米ドルに達する見込みとなりました。一方、保険により補償された金額はわずか320億米ドル(前年は350億米ドル)でした。自然災害の保険損失額は2014年よりも減少したものの、人災の保険損失総額は増加しました。中国の天津港で起きた爆発事故は今年最大の保険損失となる見込みで、これはアジアにおける人災としては過去最大です。全体として、今年災害事象で失われた命はおおよそ26,000人で、2014年の倍に上りました。

2015年の経済的損失総額は850億米ドルに到達する見込みで、2014年の1,130億米ドルおよび過去10年の平均損失額の1,920億米ドルから減少しています。自然災害に起因する損失は740億米ドルで、残りの110億米ドルが人災によるものでした。全経済的損失のうち320億米ドルが230億米ドルの自然災害による損失を含む保険損失で、2014年の280億米ドルから減少したほか、過去10年の年平均額(550億米ドル)も下回っています。

多くの災害イベントが発生した1年

2015年も暴風、ハリケーン、地震、洪水、山火事など、リスクの種類を問わず各種の深刻な自然災害が発生し、損害の原因となりました。2月に米国で発生した冬の嵐は今年最も大きな損害を生んだ自然災害となり、その保険損失額は20億米ドルを上回りました。一方で、今年の北大西洋のハリケーンシーズンは災害の発生が少なかったため、世界の保険損失総額は低く抑えられました。

世界のその他多くの地域で起こった大規模災害も、総死者数が前年の倍以上となる26,000人にまで膨れ上がる要因となりました。4月、マグニチュード7.8の地震がネパールと近隣諸国を襲い、死者9,000人、倒壊家屋約50万棟という人類史上最大級の大惨事となりました。経済的損失は60億米ドル以上と推定されますが、そのうち付保されていたのはわずか1億6,000万米ドルとなっており、これは国内の保険普及率の低さが原因です。

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171


Lucia Bevere, Zurich
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

世界気象機関によると、2015 年は過去最も暖かい年となる見込みです。異常に高い気温や雨不足により干ばつや山火事、熱波が多く地域で発生しました。この夏にインド、パキスタン、欧州、北アフリカ、中東を襲った熱波では、5,000 人以上の人が死亡しています。特にインドとパキスタンでは 5 月と 6 月に気温が 48°C を上回り 1995 年以来の記録を更新し、3,000 人を超える犠牲者を出しました。

スイス・リーのチーフ・エコノミストであるカート・カールは次のように述べています。「今年も多くの災害イベントが発生し、悲しいことに多数の犠牲者が出ました。これらの災害が被災地全体にもたらした経済的影響は壊滅的なものです。これらの地域では設備がほとんど整っておらず、保険普及率も低水準であることが多くなっています」

アフリカ北部の紛争地帯からの移民を乗せた船の転覆事故が多かったことも死者増加の原因となりました。これらは多くの場合、航海に適さない船舶で欧州へ到達しようと試みていた人々でした。

人災による保険損失の増加

人災は 2015 年の全保険損失のうち 90 億米ドル分の原因となっており、2014 年の 70 億米ドルから増加しました。今年最も被害額の大きかった出来事は、8 月 12 日に中国北東部の天津港にある倉庫施設で起こった一連の爆発事故でした。この爆発事故では 173 人の命が失われたほか、負傷者の数はこれを大きく上回りました。他にも車両、輸送コンテナ、製造施設、周辺建物も多くが破壊されました。構外利益の可能性を含め、影響を受ける保険種目が多岐にわたることから、この事故の損失額概算には非常に高い不確実性があります。初期の予想では保険請求額が少なくとも 20 億米ドルにのぼることを示しており、アジア最大であると同時に、保険業界にとって最大の人災になると思われます。

人災による保険損失額集計には、他の製造施設や異なる地域のエネルギー施設における火災および爆発による損失額およそ 30 億米ドルが加算されています。本リリースのすべてのデータは発表の時点で入手可能な情報に基づいています。推定値は暫定値であり、通期のデータ情報がそろった時点で変更される可能性があります。

表1: 2015年自然災害の被保険損失上位の事故(単位: 十億米ドル)

月	保険損失額 ¹	損失合計額	災害イベント	国
8月	>2	該当なし	天津港の爆発 ²	中国
2月	2.1	2.7	冬の暴風 ³	米国
5月	1.2	2.0	テキサスの雷雨、洪水 ³	米国
4月	1.2	1.6	雷雨 ³	米国
9月	1.0	1.6	山火事「ハレー・ファイア」 ³	米国
4月	1.0	1.4	冬の暴風「ニコラス」 ⁴	欧州

注: (1) 賠償責任保険および生命保険を除く、損害保険および事業中断保険で保障される損害

出所: (2) スイス再保険会社推定値、(3) Property Claims Services が許可した米国自然災害の数値、(4) Perils AG およびスイス再保険会社の推定値

表 2: 2014 年および 2015 年の経済的損失および被保険損失

単位: 十億米ドル(2015 年の物価を基準とする)

	2015年	2014年	前年比	10年平均
経済的損失	85	113	-24%	192
自然災害	74	104	-28%	180
人災	11	9	24%	12
被保険損失	32	35	-11%	62
自然災害	23	28	-19%	55
人災	9	7	22%	7

出所: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト(www.swissre.com)をご覧ください。また、Twitter で(@SwissRe)をフォローしていただきますようお願い致します。